

*SuperGoodMeetings Introduction*

# 定例ミーティングを変える。 プロジェクトが変わる。

自律的なプロジェクト推進をサポートする  
クラウドサービス

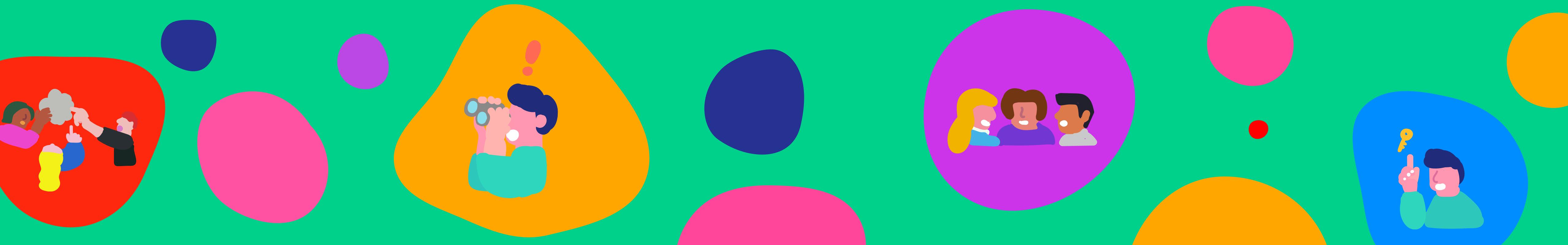
[supergoodmeetings.com](http://supergoodmeetings.com)



 **SuperGoodMeetings**

# 目次

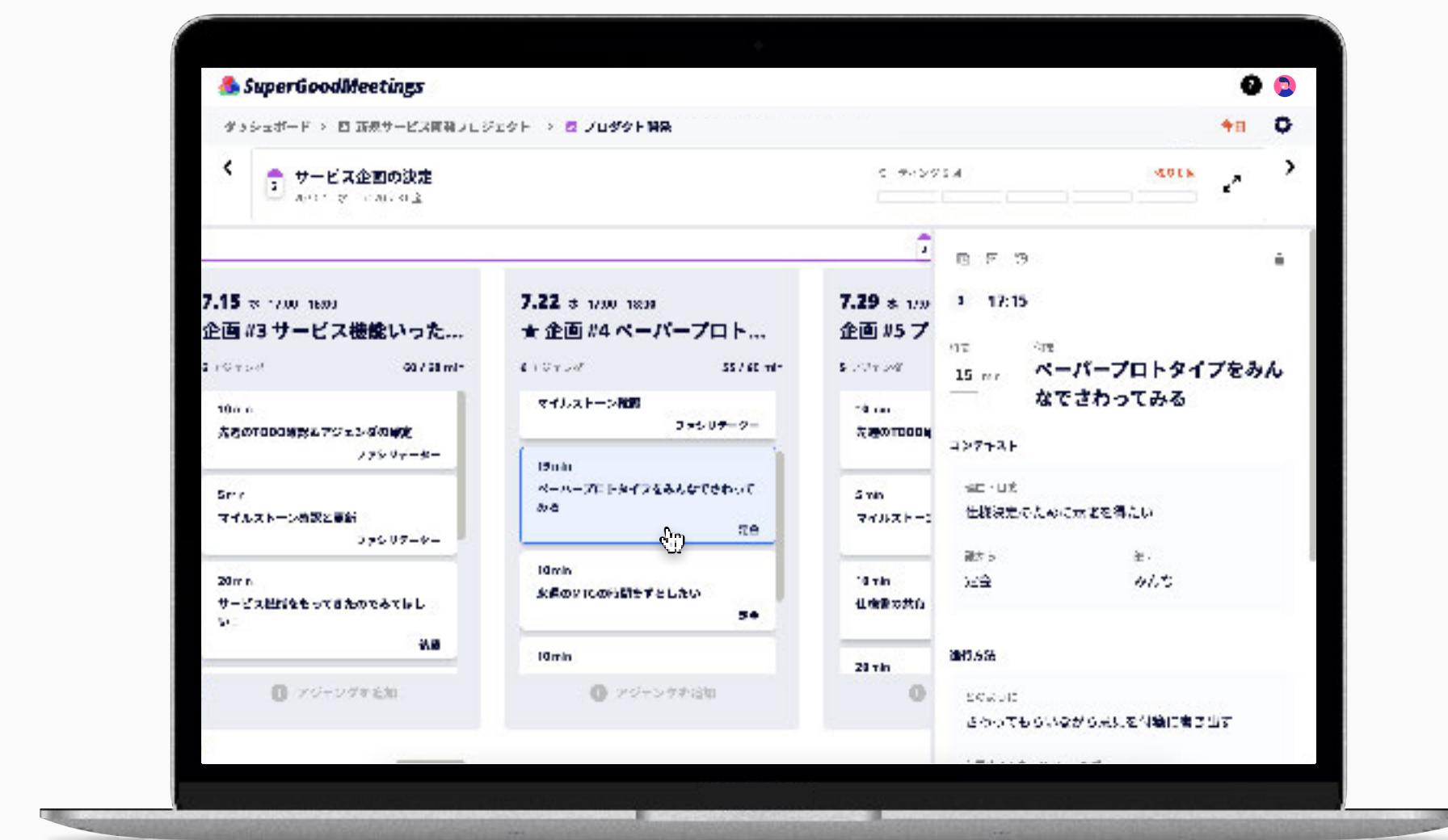
SuperGoodMeetingsとは？	03	活用事例	11
SuperGoodMeetingsが解決できる課題	04	プランと料金	16
SuperGoodMeetingsの活用で期待できる 変化	05	ユーザーコミュニティー	18
実装されているメソッドについて	06	おわりに／わたしたちの想い	19
機能紹介	07		



# SuperGoodMeetingsとは？

SuperGoodMeetings(スーパーグッドミーティングス)は、自律的なプロジェクト推進をサポートするクラウドサービスです。

社会の状況がめまぐるしく変化し、先の予測がどんどん難しくなっているいま。複雑なプロジェクトを前に進めるために、一人ひとりが自律的に行き動ける環境、チームの重要性が高まっていきます。



メンバーそれぞれが自律的に動ける環境をつくるために、私たちは「定例ミーティング」をうまく活用する方法を見出しました。

SuperGoodMeetingsには、そのための機能を実装しています。

少人数のチームから大規模プロジェクトまで、幅広くご活用いただけます。

# Project



# SuperGoodMeetingsが解決できる課題

プロジェクト推進について、以下のような課題をお持ちではありませんか？

そのお悩み、SuperGoodMeetingsなら解決できるかもしれません。



プロジェクトが複雑で、  
リーダーが管理しきれない



プロジェクトを取り巻く  
環境の変化に適応するのが  
難しい



一人ひとりが自律的に行動  
できるプロジェクトチームを  
作りたい

# SuperGoodMeetingsの活用で期待できる変化

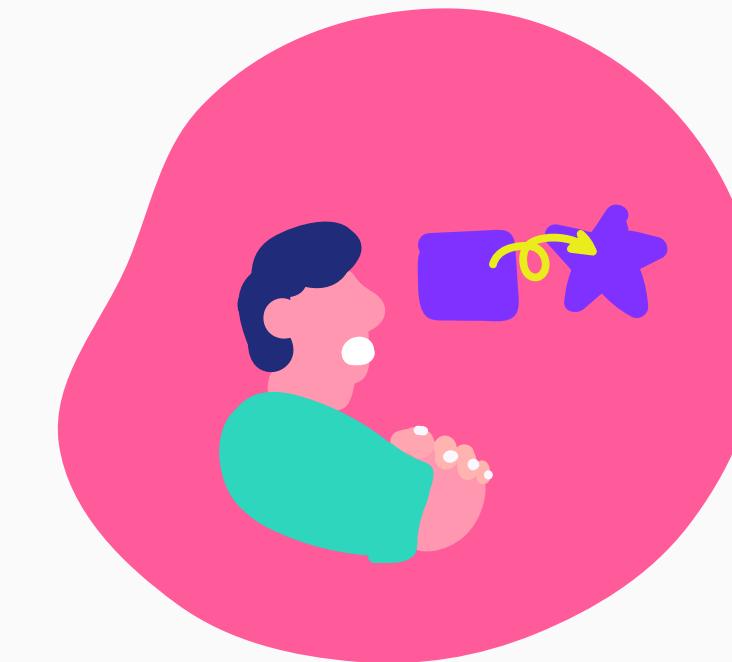
SGMsには、マイルストーン(目標)の設定、アジェンダ立て、議事録の作成など、プロジェクトを推進するために必要な機能を集約しています。ご活用いただることによって、一人ひとりのメンバーが自律的に動きやすい環境づくりをサポートします。



プロジェクトの目的や  
マイルストーン（目標）を常に  
意識して行動できる



プロジェクトに関する情報が  
オープンな場で蓄積・共有される



定期的に状況の変化を感知する  
ことができ、適応しやすくなる



一人ひとりのメンバーが自律的に動きやすくなる

# 実装されているメソッドについて



[projectsprint.org](https://projectsprint.org)

SuperGoodMeetingsは、運営元である株式会社コパイロットが開発した、独自のプロジェクト推進メソッド「Project Sprint」に基づいて設計されています。「Project Sprint」とは、ミーティングを活用してプロジェクトを推進する方法論です。コパイロットがこれまでの業務において積み上げてきたプロジェクト推進の実践知を元に、汎用的な方法論にまとめ、オープンソースとして公開しています。

## 登壇実績

- |            |  |
|------------|--|
| 2020.09.29 | 経済産業省 DX-Techmembersランチ会                           |
| 2020.08.12 | ITR Lounge ハナシバ vol.5 激動の時代、隣のプロジェクトマネージャが取り組んでいる事 |
| 2019.11.13 | プロダクトマネージャーカンファレンス 2019                            |
| 2019.11.12 | 日本ナレッジマネジメント学会：実践ナレッジ・イノベーション研究部会11月度              |

# 機能紹介

SuperGoodMeetingsの主な機能をご紹介します



# SuperGood プロジェクト のために

進化しつづける目的をいつでも参照できます。メンバーは自律的にアクションしやすくなり、プロジェクトはより本質的な成功に近づきます。

**view & detail**

- プロジェクト進行に関わる主要な出来事を一覧
- フェーズ・マイルストーンをドラッグで作成、移動
- プロジェクト内のチームごとに独立したトラックを作成
- 月～日単位のズームレベル

The screenshot shows the SuperGoodMeetings application interface. At the top, there's a navigation bar with the logo 'SuperGoodMeetings' and links for 'ダッシュボード' and '新規サービス開発プロジェクト'. On the right side, there are user icons for help, profile, and settings.

The main area displays a project timeline from '2020.6.1月 - 2021.3.31水'. The timeline is divided into phases:

- 全体戦略**: Phase from July to September 2020, represented by a green bar.
- サービスの方向性検討**: Phase from August to September 2020, represented by a black bar.
- サービス企画の決定**: Phase from August to September 2020, represented by a purple bar.
- テスト実施の準備**: Phase from August to September 2020, represented by an orange bar.
- テストからフィードバック**: Phase from August to September 2020, represented by a pink bar.
- 社内メンバーによる機能検証**: Phase from August to September 2020, represented by a blue bar.
- プロトタイプのフィードバック**: Phase from August to September 2020, represented by a light blue bar.
- マーケティング方向性検討**: Phase from August to September 2020, represented by a yellow bar.

On the left, there are boxes for each phase listing team members and descriptions:

- 全体戦略**: Members M, A, B, C, D
- サービスの方向性検討**: Members M, A, B, Y, H, G, E
- サービス企画の決定**: Members M, A, S
- テスト実施の準備**: Members Y, A, B, C, D
- テストからフィードバック**: Members Y, A, B, C, D
- 社内メンバーによる機能検証**: Members Y, A, B, C, D
- プロトタイプのフィードバック**: Members Y, A, B, C, D
- マーケティング方向性検討**: Members Y, A, B, C, D

On the right, there are sections for 'フェーズ タイトル' (Test implementation preparation), '期間' (Period: 2020.8.1土 - 2020.8.31月), '成果物・目標' (Outputs/Goals: Test implementation plan (5 pages · PPT) · Touchable prototypes), 'あるべき姿' (Ideal state: Test budget is distributed · Test user list is available), and 'メモ' (Memo: Summary of phases...).

# SuperGood ミーティングのために

いま相談が必要なアジェンダを共有、議論できます。新たなトライが生まれやすくなり、チームの目線が揃います。

**SuperGoodMeetings**

ダッシュボード > 新規サービス開発プロジェクト > プロダクト開発（ミーティングサンプル）

サービス企画の決定  
2020.7.1 水 - 2020.7.31 金

ミーティング 5 回 残り 0 回

7.29 水 17:00 - 18:00  
企画 #5 プロトタイプ仕様書...  
5 アジェンダ 50 / 60 min  
10 min 先週のTODO確認＆アジェンダの確定 ファシリテーター  
5 min マイルストーン確認と更新 ファシリテーター  
10 min 仕様書の共有 定金  
20 min フェーズ完了時のふりかえり ファシ  
5 min アジェンダを追加

8.5 水 17:00 - 18:00  
プロトタイピング #1 実装要...  
4 アジェンダ 30 / 60 min  
10 min 先週のTODO確認＆アジェンダの確定 ファシリテーター  
5 min マイルストーン確認と更新 ファシリテーター  
10 min テンショントリアージ ファシ  
5 min 決定事項の共有と来週までのタスク確認 レコーダー

1 17:00  
時間 何を  
10 min 先週のTODO確認＆アジェンダの確定  
コンテキスト  
理由・目的  
ミーティングで話す内容を決定するため  
誰から 誰に  
ファシリテーター 全員  
進行方法  
どのように  
ファシリテーターがタスク確認を行いながら、今日話すべきアジェンダを追加・編集して決定する。  
参照するドキュメント・情報  
参照すべき資料へのリンクや情報を記入…

+ アジェンダを追加

view & detail

- 複数ミーティングを俯瞰で管理
- 変更のリアルタイム同期
- ドラッグアンドドロップでアジェンダやミーティング順を移動
- アジェンダのコピー

# SuperGood

## アジェンダのために

論点を整理するための項目はツール内に用意されています。そのため、相談したい内容をかんたんに整理・提案できます。

### view & detail

- 誰でもアジェンダを追加
- 変更のリアルタイム同期
- ドラッグアンドドロップで順序を変更
- 直感的に時間調整できるスライダー

SuperGoodMeetings

ダッシュボード > 新規サービス開発プロジェクト（デモ）> プロダクト開発（ミーティングサンプル）> 企画 #5 プロトタイプ仕様書完成

サービス企画の決定  
2020.7.1 水 - 2020.7.31 金  
ミーティング 5 回  
残り 0 回

前ミーティングへ 次のミーティングへ >

2020.7.29 水 17:00 - 18:00 場所未定

### 企画 #5 プロトタイプ仕様書完成

参加者・役割 メモ  
ミーティング参加メンバーを記入してください 議事録のURLやメモを記入してください

3 17:15

時間 何を  
10 min 仕様書の共有

コンテキスト

理由・目的  
次のフェーズでつくりはじめたい

誰から 誰に  
定金 みんな

進行方法

どのように  
スライドの資料をみながらコメント

参照するドキュメント・情報  
参照すべき資料へのリンクや情報

順序	開始時間	時間	何を	誰から
1	17:00	10 min	先週のTODO確認＆アジェンダの確定	ファシリテ…
2	17:10	5 min	マイルストーン確認と更新	ファシリテ…
3	17:15	10 min	仕様書の共有	定金
4	17:25	20 min	フェーズ完了時のふりかえり	ファシ

# 活用事例

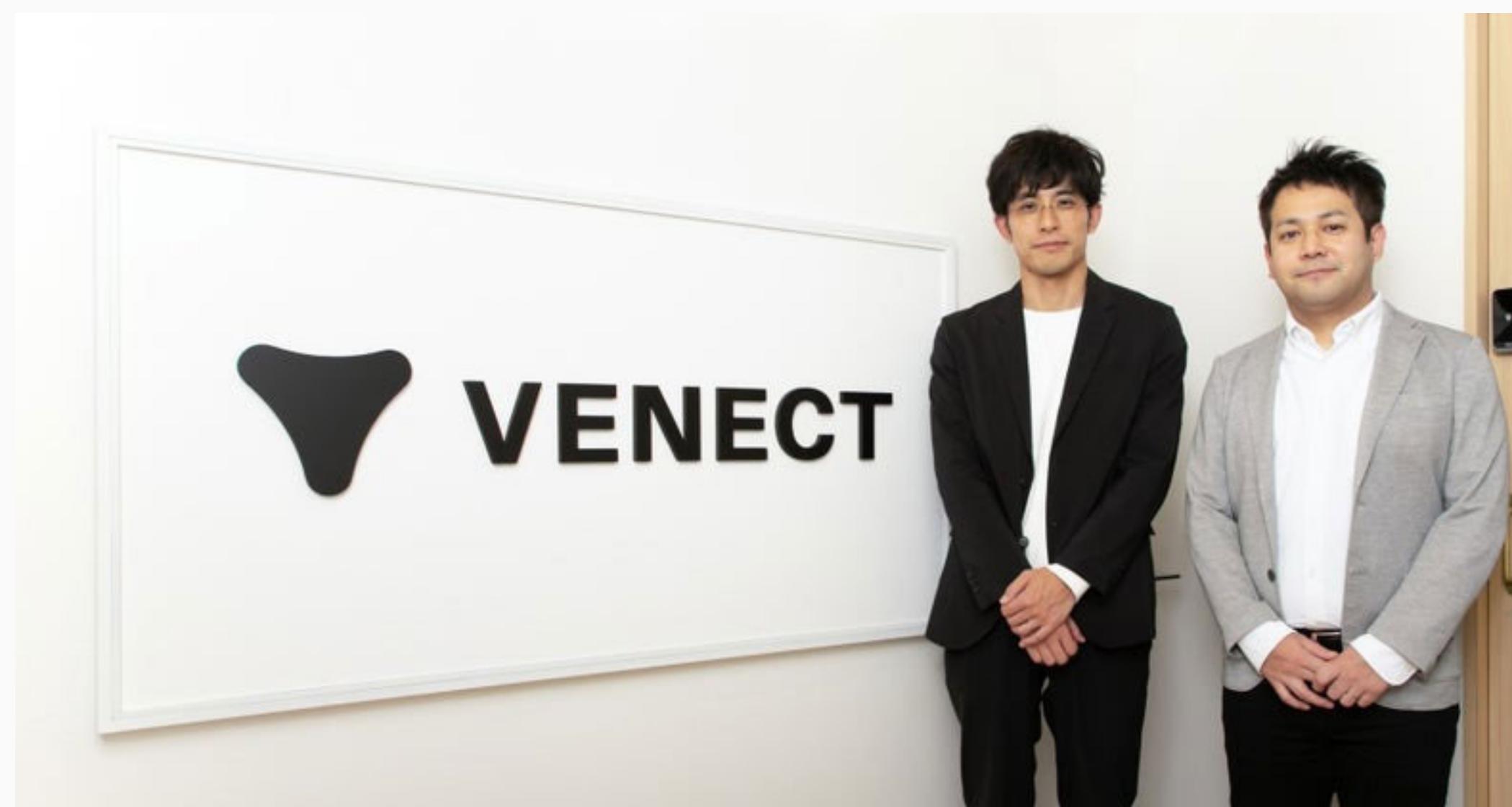
SuperGoodMeetingsを導入・活用  
いただいているみなさまの事例です



## 事例01

# 会議は「事前に設計」するもの。可視化がプロジェクトの進行を加速させる

「会議後に議事録を1時間かけてつくるなら、事前のアジェンダ作りに時間  
を割くべき」——マーケティングエージェンシーのヴェネクト株式会社で  
は、定例ミーティングのアジェンダ管理に「SuperGoodMeetings」を活用  
してくださっています。



ヴェネクト株式会社(2013年設立/社員数:30名)  
<https://www.venect.jp/>

## 課題 | これまで起きていたこと

- 定例会議のアジェンダや議事録をその都度ドキュメントで作成・共有していたが、どうしてもフォルダやファイルが増えてしまい、管理が煩雑になっていた。
- 過去の記録が振り返りにくかった。プロジェクトを進行する中で、「該当のドキュメントを探す」というひと手間が発生していた。

## 成果 | SuperGoodMeetings導入後の変化

- 定例会議のアジェンダ作成、共有、管理がすべて一つのツール上で完結できるようになり、事前準備や確認作業の手間が削減された。
- 複数のステークホルダーが関わるプロジェクトの進行がツール上で可視化されるため、意思決定の履歴など、正確な情報を全員が把握できるようになった。

## 詳しくみる

<https://note.com/sgms/n/n0064b44bbf81>

## 事例02

# 「認識のズレを補正する仕組み」で、社内のコミュニケーションを円滑に

社内で立ち上げたプロジェクトがなかなか進まない。コミュニケーションが円滑にできない。そんな課題を抱えている方も多いのではないでしょうか。ゴール・システム・コンサルティング株式会社では、

「SuperGoodMeetings」を活用して社内のプロジェクト管理をアップデートされています。



ゴール・システム・コンサルティング株式会社(2002年設立/社員数:10名)  
<http://www.goal-consulting.com/>

## 課題 | これまで起きていたこと

- ・プロジェクト管理には、主にOffice各ソフトやチャットツールを利用。各人各様のプロジェクト管理をしていた。
- ・2020年の外部環境変化を経て、社内プロジェクトが多数立ち上がり、その管理が必要になった。

## 成果 | SuperGoodMeetings導入後の変化

- ・SuperGoodMeetings導入と同時に「Project Sprint」を学ぶことで、プロジェクトマネジメントにおける課題が顕在化した。
- ・SuperGoodMeetings上に明文化された情報が集約されるようになったことで、コミュニケーションの仕方が変わり、組織にとってプラスになる動きが複数生まれた。

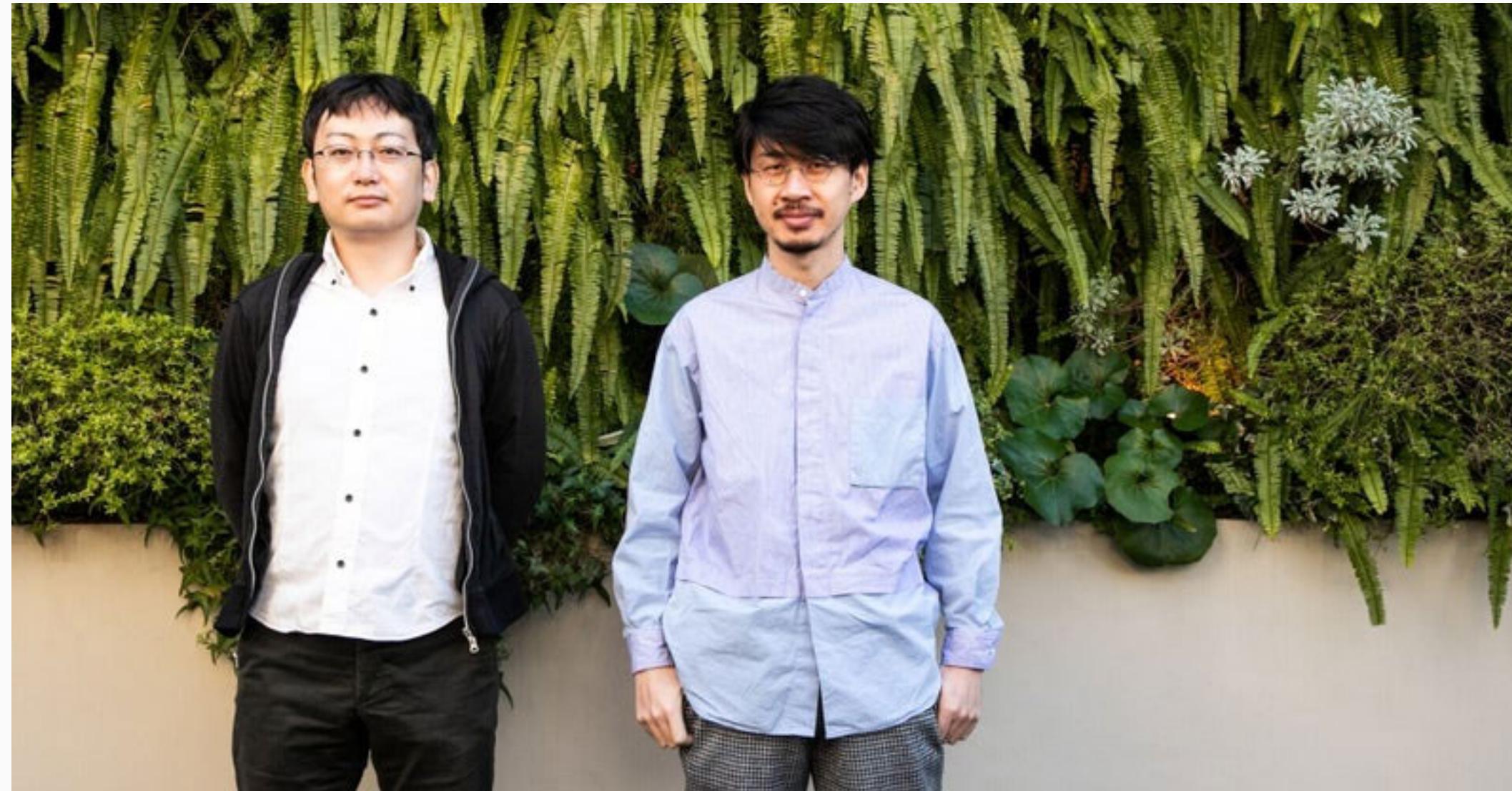
## 詳しく見る

[https://note.com/sgms/n/n01bd46d99dcd?magazine\\_key=m3633f7f797e5](https://note.com/sgms/n/n01bd46d99dcd?magazine_key=m3633f7f797e5)

## 事例03

# 「定例ミーティング」を軸として、プロジェクトの進行を円滑にする

ガントチャート型の工程管理から、全体マイルストーンと定例ミーティングを軸に据えたプロジェクトマネジメントへ。「SuperGoodMeetings」の開発パートナーでもあるユニバ株式会社では、開発チーム外のプロジェクトでも「SuperGoodMeetings」の導入を開始し、プロジェクトマネジメントの方法をアップデートされています。



ユニバ株式会社(2003年設立/社員数:23名)

<https://uniba.jp/>

## 課題 |これまで起きていたこと

- ・プロジェクト管理のルールは特に決まっておらず、各人それぞれが異なるツールやフォーマットを使用していた。
- ・さまざまな工程が発生するプロジェクトでは、ガントチャートを用いた進捗管理を行っていた。

## 成果 | SuperGoodMeetings導入後の変化

- ・ツールを導入することで、プロジェクト管理の仕方やミーティングのアジェンダ設定、進め方などの共通認識が生まれ、業務を標準化することができた。
- ・全体マイルストーン把握+定例ミーティング実施による管理方法が共有され、プロジェクトの進行がスムーズになった。

## 詳しくみる

[https://note.com/sgms/n/nc218c6d07a22?magazine\\_key=m3633f7f797e5](https://note.com/sgms/n/nc218c6d07a22?magazine_key=m3633f7f797e5)

## 事例04

# 学校・教育現場でこそ、プロジェクト推進のためのメソッドが活きる

北海道・札幌新陽高等学校では、コパイロットによるプロジェクト推進メソッドの導入支援をきっかけに、2021年3月からSuperGoodMeetingsを使いいただいている。



学校法人札幌慈恵学園 札幌新陽高等学校(1958年設立/職員数:75名)  
<https://sapporoshinyo-h.ed.jp/>

## 課題 |これまで起きていたこと

- 2016年から校内業務のデジタル化が進められており、各教員はGoogleドキュメントやスプレッドシートなどのクラウドツールを利用して業務を行っていた。
- 2020年以降、新型コロナウィルス感染拡大の影響を受けてデジタルへの移行がさらに加速。一つひとつのプロジェクトが個別に進められていたため、各教員がもつ情報を集める場が必要だった。

## 成果 | SuperGoodMeetings導入後の変化

- アジェンダ設定や議事録のアーカイブなど、プロジェクトごとの定例ミーティングの情報が集まる共通の場所ができた。
- 定例ミーティングの進め方に関するノウハウを得て、一つひとつのアジェンダの目的や、議論すべきことを明確化できるようになり、向き合い方が変わった。

## 詳しくみる

[https://note.com/sgms/n/nc218c6d07a22?magazine\\_key=m3633f7f797e5](https://note.com/sgms/n/nc218c6d07a22?magazine_key=m3633f7f797e5)

# プランと料金

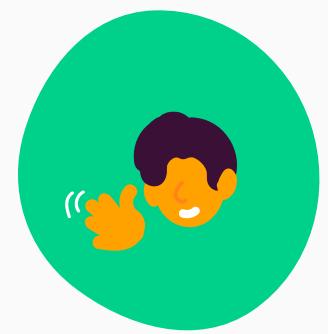
プロジェクト規模に合わせて、  
いくつかのプランをご用意しています



# プランと料金

SuperGoodMeetingsはユーザーがオーナー権限を持つアクティブなプロジェクトの数\*に応じた料金プランを用意しております。

\*別のユーザーに招待されたプロジェクトやアーカイブ済みのプロジェクトは含まれません



## フリープラン

0円 / 月

オーナープロジェクト 最大1  
招待可能ユーザー数 無制限

まずは SuperGoodMeetings を試したい方  
向け



## スタンダードプラン

800円 / 月(税込 880円)

オーナープロジェクト 最大5  
招待可能ユーザー数 無制限

複数プロジェクトを抱える個人やスタート  
アップの方向け



## ビジネスプラン

7,800円 / 月(税込 8,580円)

オーナープロジェクト 最大50  
招待可能ユーザー数 無制限

複数案件を抱えているコンサルファーム、制  
作会社や、多数のチームを抱える大企業など、  
より大規模な導入を検討されている方向け

## ご利用いただける機能

- ・ プロジェクト作成 (アーカイブ可能)
- ・ プロジェクトにおけるマイルストーン作成・管理
- ・ ミーティングの作成・管理
- ・ ミーティングにおけるアジェンダ作成・管理
- ・ ミーティングにおけるログ管理
- ・ ユーザーのプロジェクト招待

## ユーザーコミュニティ

プロジェクト推進メソッドProject Sprintや  
ミーティング活用クラウドサービス  
*SuperGoodMeetings*について、ちょっと  
した質問や情報交換ができるユーザー  
コミュニティをSlackにて運営しています。

メソッドやサービスの最新情報のキャッチ  
アップや、使い方・不明点に関するご相  
談、開発メンバーとのコミュニケーション  
など、ぜひお気軽にご活用ください!

<http://slack.projectsprint.org/>

# おわりに / わたしたちの想い

社会状況が変化し、組織が置かれている環境は複雑になり続けています。その影響を大きく受けて、私たちが関わるプロジェクトの難易度もだんだん高くなっています。

目標達成に向けたプロセスが曖昧になりがちな中で、迅速なアウトプットや高い創造性、オリジナリティが求められる。各領域に専門特化した多様なメンバーがチーム内に集うため、マネジメントのハードルが上がっている——みなさんも、こうした課題に直面している方が多いのではないでしょうか。

長年にわたり、さまざまなプロジェクトをサポートしてきた実践経験を通じて、わたしたちは「みんなでプロジェクトを推進する」環境を構築することが、これからプロジェクト推進の在り方なのではないかと考えるようになりました。

それぞれのメンバーが共通の目標を十分に理解し、チームメンバーと自分の役割を把握した上で、それがチームの目標に向かって各メンバーとのコミュニケーションを取りながら、自律的にプロジェクトを進めていく。そんな状態を目指してみたいのです。

そのために、ミーティングの場で活発な議論が行われ、確実に次のアクションが出てきたり、次のビジョンを描いたりできる状態にしたい。その環境を提供するための支援をしたい。わたしたちはそう考えています。

新しい手法を取り入れるには、いろいろとハードルもあるとは思います。はじめはみなさんの身近にある、ごく小さなプロジェクトからでも、まずは3ヶ月、*SuperGoodMeetings*を使ってみませんか?きっと成果を感じただけるはずです。



# SuperGoodMeetings introduction

version 8

2021/11/8



# COPilot

<https://copilot.jp/>

株式会社コパイロットでは、*SuperGoodMeetings*を活用したプロジェクト推進の  
コンサルティングを行っています。お気軽にお問い合わせください。

Developed by COPilot Inc. + UNIBA INC. Project Sprint Team.